

## 茨城県立歴史館の郷土学習支援事業（出前講座）テーマ一覧〈令和6年度版〉

当館では講師派遣事業（出前講座）を実施しています。講座のテーマおよび具体的な内容は下表のとおりです。

※ 特別展開催前後は受け入れが難しい場合がございます。

	タイトル・テーマ名	具体的な内容	担当者
1	勾玉づくり体験	縄文時代から作られていた勾玉についての解説と、ろう石を使った勾玉づくりを体験します。 ※材料費（1個 400円）がかかります。	教育普及課
2	粋な紋切りあそび —日本の心が見える紋 紋の文化と粋について—	紙を折って型どおりに切り抜くときれいな紋が出来上がる、江戸時代からの粋なあそび「紋切りあそび」。実際に体験しながら、紋の文化を学びましょう。	教育普及課
3	紫式部の弟は 「茨城県知事」	本年の大河ドラマの主人公、紫式部。彼女の弟は常陸介、すなわち「茨城県知事」でした。紫式部と本県の知られざる歴史とエピソードを紹介します。 <span style="color: red;">今年度は募集が終了しました</span>	資料調査 専門員 飛田 英世
4	茨城近世絵画史 水戸・土浦	郷土茨城の近世絵画史を、水戸と土浦を中心に紹介します。	首席研究員 藤 和博
5	江戸時代の水郷めぐり旅	風光明媚で鹿島・香取など名所が多い水郷は、江戸時代、大人気の旅行先でした。旅人たちは、どこを訪れ、何を見てどんなことを感じたのでしょうか。 旅人たちが書き残した旅日記からさぐります。	首席研究員 長谷川 良子
6	鯰絵と鹿島信仰	幕末期、安政の大地震後に江戸で大流行した鯰絵と茨城の関係、そこに描かれているもののおもしろさを解説します。	学芸員 森戸 日咲子
7	水戸藩における 尊王攘夷運動の成立	幕末期の水戸藩における尊王攘夷運動の意義について、その形成過程をとおして考えます。その中で、御三家の一つに位置づけられ、運動の理論的支柱となる尊王攘夷思想を育んだ同藩の特質を浮かび上がらせます。	学芸課長 由波 俊幸
8	徳川慶喜	水戸藩主徳川斉昭の子として生まれ、江戸幕府の15代将軍となった徳川慶喜。本講座では、その生涯にわたり政治行動を大きく規定することになった血脈や、朝廷や幕府、そして水戸藩との関わりをもとに、「最後の将軍」の実像に迫ります。	学芸課長 由波 俊幸
9	一橋徳川家の近代 —宗敬・幹子夫妻—	一橋徳川家12世当主宗敬と幹子について、史料を読みながらご紹介いたします。	主任学芸員 武子 裕美

10	古文書講座 —くずし字を読むための はじめの一步—	江戸時代によく使われる名前や数字のくずし字を、名簿や検地帳から学びます。	主任学芸員 武子 裕美
11	近世後期における常総地域の 学者間ネットワーク —色川三中、長島尉信、宮本茶 村を中心に—	従来あまり知られていなかった常総地域の民間学者たちにスポットをあて、彼らによる史料収集および編さん活動をひも解いていきます。	主任研究員 山縣 創明
12	奥女中のみた 幕末の水戸藩	水戸藩第九代藩主斉昭の正室吉子に奥女中として仕えた西宮秀が晩年に書いた回想録『落葉の日記』。そこに書かれた奥向きからみた幕末の水戸藩を紹介します。	歴史資料課長 笹目 礼子
13	岩上二郎と史料保存	鹿島開発や筑波研究学園都市建設で知られる知事・岩上二郎ですが、史料保存にも力を尽くしたことはあまり知られていません。茨城県史の編さん、歴史館の建設、公文書館法の制定などについて解説します。 <b>※6月25日(火)より受付</b>	資料調査 専門員 富田 任

## 【活用の方法について】

### ① お申し込み

上表のテーマ一覧から希望の講座を選んでいただき、教育普及課までご連絡ください。その後、実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

**なお、お申し込みは、実施日の1か月前までをお願いします。**

### ② 経費

交通費（旅費）の負担をお願いします。（講師謝礼等は必要ありません）

### ③ その他

**出前講座は、原則公民館等の公的団体のみの受付となります。**

**講座担当者の展示作業、調査などのため、希望日の調整ができない場合があります。**

#### 問い合わせ先

茨城県立歴史館 管理部教育普及課

〒310-0034 水戸市緑町 2-1-15

電話 029-225-4425 FAX 029-228-4277

E-mail: daiyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp